

2014年12月 1日発行

サポセン和歌山

更生保護サポートセンター和歌山：〒640-8157 和歌山市 8 番丁 4 ・ 八番丁館 3

発行責任者：
和歌山保護司会会長
編集：企画調整保護司
Tel:073-460-9298
Fax:073-425-1301

第
14
号

更生保護制度施行 65 周年記念和歌山県大会（10月28日・市民会館小ホール）

500 余名が集い 受彰者を祝す！！

更生保護制度施行65周年記念和歌山県大会



永らく更生保護活動に尽力され、平成26年度に「受彰された皆様方。写真左より、法務大臣表彰の辻岡・藤井・小野・北口・濱路保護司、藍綬褒章（H26年秋）の乾保護司、法務大臣表彰の新島・南保護司の8氏

魂のヴォーカリスト

杉山 裕太郎氏の「魂の歌 講演ライブ」に聴き入る。

【第1部】

去る10月28日、和歌山市民会館において更生保護制度施行65周年記念和歌山県大会が、盛大かつ厳粛に挙行されました。大会趣旨は以下のとおりである。

東支部の野々村保護司の司会進行で開幕。第1部として杉山裕太郎氏の「親子の絆～ありのままを受け止めて」と題した迫力ある語りと、魂の歌の熱唱に、参加者一同引きずり込まれました。

で「愛と絆」がテーマの『魂の歌講演ライブ』の活動をされています。

講演に引続き、第64回「社会を明るくする運動」作文コンテスト・小学校の部最優秀賞を受賞された根来小学校・竹下知歩さんの『犯罪非行のない社会づくり』と、題した作文朗読があり、来場者に大きな感名を与えました。

本大会は、更生保護制度施行65周年を記念し、県内各地において、再犯や再非行を防ぎ、犯罪や非行に陥った人たちの改善更生を助けるとともに、犯罪や非行のない明るい地域づくりに寄与する更生保護関係者が一堂に会し、功労者の顕彰を行うことにより、関係者の意識の統一と士気の高揚を図り、もって更生保護の一層の充実発展と犯罪や非行のない明るい和歌山県の建設を期そうとするものである。

同氏は、自らの中学生時代から非行、更には暴走族リーダーや薬物乱用と人生のどん底を味わった。23歳の時、親のコトバをきっかけに愛情に目覚めて再出発、更生へ。

その立ち直りに至る赤裸々な体験を活かして、いじめ・自殺・虐待・非行・薬物乱用などの抑止力となるため、現在、全国の市町村、学校等



堂々として落ち着いた朗読をする竹下さん

栄えある受彰者の皆さま 誠におめでとございます。

第2部 表彰式典

藍綬褒章（平成25年秋）

乾 三千代（和歌山北支部長）

昨年、図らずも藍綬褒章の栄に浴し、身の引き締まる思いでございました。思えば27年間保護司として更生保護に携わってこれました。これも偏に周りの皆さまや家族に支えられてのことだと感謝しています。今後ともこの榮譽に恥じることはないよう、精進して参りたいと思っております。

法務大臣表彰

辻岡悦治 保護司（和歌山東）
小野圭子 保護司（和歌山南）
北口勲 保護司（和歌山南）
濱路寿一 保護司（和歌山南）
南昭宏 保護司（和歌山南）
新島壮 保護司（和歌山北）
藤井保夫 保護司（和歌山北）

法務大臣感謝状

北畑恵美子（県更生保護協会）
谷崎博志（県更生保護協会）
和歌山保護司会東支部
浜友会（西浜中学校同窓会）
（社会を明るくする運動関係）

全国保護司連盟理事長表彰

乾吉晴 保護司（和歌山東）
長濱ツヤ子 保護司（和歌山東）
森田昌伸 保護司（和歌山東）
高松陽子 保護司（和歌山南）
新島雄 保護司（和歌山北）

全国保護司連盟理事長 内助功勞表彰

小西喜代子（和歌山東）

近畿地方更生保護委員会 委員長表彰

井邊徹 保護司（和歌山東）
楠本卓司 保護司（和歌山東）
宮崎大完 保護司（和歌山東）
山本昭一 保護司（和歌山東）
佐藤孝博 保護司（和歌山西）
山林祥仁 保護司（和歌山西）
木村晶三 保護司（和歌山南）
山下耕司 保護司（和歌山南）

浅井晴美 保護司（和歌山北）
宇治田明史 保護司（和歌山北）
岩橋一博（県更生保護協会）
山本進三（県更生保護協会）

近畿地方更生保護委員会 委員長感謝状

玉置和幸（協会運営協力）
田和千恵子（協会運営協力）
土山憲一郎（協会運営協力）
森下正紀（協会運営協力）
（株）紀陽銀行（協会運営協力）
（株）島精機製作所（協会運営協力）
（株）山本進重郎商店（協会運営協力）
丸新産業（株）（協会運営協力）
明光電気株（株）（協会運営協力）
八栄モーター（株）（協会運営協力）
わかやま農業協同組合（同上）
社会福祉法人
和歌山県社会福祉協議会
（社会を明るくする運動関係協力者）

近畿地方保護司連盟会長表彰

江川友章 保護司（和歌山東）
壬生啓一 保護司（和歌山東）
中井正雄 保護司（和歌山西）
松尾幸一 保護司（和歌山西）
青山真弥 保護司（和歌山南）
杉谷睦生 保護司（和歌山南）
田村亘繪 保護司（和歌山南）
土橋廣藏 保護司（和歌山北）
山本久 保護司（和歌山北）

近畿地方保護司連盟 内助功勞者表彰

西村征雄（和歌山西）
温品律子（和歌山北）

和歌山県知事感謝状

鈴木彰 保護司（和歌山東）
井本源士 保護司（和歌山西）
高橋厚生 保護司（和歌山北）



▲大会宣言案の発表（西村県保連副会長）

和歌山保護観察所長表彰

角倉耕一 保護司（和歌山東）
中村四郎 保護司（和歌山東）
補陀寛之 保護司（和歌山東）
林功 保護司（和歌山東）
小林勝司 保護司（和歌山西）
中村咲子 保護司（和歌山西）
榎本貢 保護司（和歌山北）
西本憲夫 保護司（和歌山北）

和歌山保護観察所長感謝状

北畑萬寿一（県更生保護協会）
谷為正太郎（県更生保護協会）
山田恒次（県更生保護協会）
医療法人進正会 寺下病院
（株）岡本設計・（株）電創
尾家賢司・Curves小雑賀店
（社会を明るくする運動関係）

和歌山県保護司連合会 会長表彰

上田誠二 保護司（和歌山東）
小坂千恵 保護司（和歌山東）
坂本記美子 保護司（和歌山東）
西川奈緒美 保護司（和歌山東）
野間弓子 保護司（和歌山東）
村瀬一也 保護司（和歌山東）
湯橋敬一 保護司（和歌山東）
楠本眞司 保護司（和歌山西）
小橋睦子 保護司（和歌山西）
島由佳子 保護司（和歌山西）
新野富次夫 保護司（和歌山西）
西上直宏 保護司（和歌山西）
西永由子 保護司（和歌山西）
青沼正男 保護司（和歌山南）
今吉あや 保護司（和歌山北）
玉置和幸 保護司（和歌山北）
中谷節子 保護司（和歌山北）
本村廣幸 保護司（和歌山北）



「一発退場の社会は良くない。やり直しのできる社会を。」と、あいさつされる仁坂知事。

【更生保護女性会】

法務大臣感謝状

嶋倉睦代 (和歌山5)

日本更生保護女性連盟会長表彰

西川美恵子 (和歌山3)

松田圭子 (和歌山9)

近畿地方更生保護委員会

委員長感謝状

武内優子 (和歌山5)

竹家弘美 (和歌山6)

金田郁子 (BBS)

近畿更生保護女性連盟

会長表彰

岩橋佳子 (和歌山2)

永井輝子 (和歌山7)

松本秀子 (和歌山9)

和歌山県知事感謝状

坂田敦子 (和歌山4)

三木順子 (和歌山5)

山本靖子 (和歌山7)

大西香 (和歌山9)

和歌山保護観察所長感謝状

和田喜子 (和歌山1)

西永由子 (和歌山2)

山本勇子 (和歌山2)

中井美智子 (和歌山3)

西島美知代 (和歌山3)

的場そよ (和歌山3)

太田栄 (和歌山4)

亀井淳子 (和歌山5)

石井敏代 (和歌山6)

川西万貴子 (和歌山6)

臼井好子 (和歌山7)

藤原博子 (和歌山7)

辻淳子 (和歌山8)

藤井八重子 (和歌山8)

前田雅子 (和歌山9)

百濃准子 (和歌山9)

山下容子 (和歌山9)



自作の歌を熱唱する
魂のヴォーカリスト・杉山裕太郎氏



和歌山県更生保護女性連盟
会長表彰

有田裕子 (和歌山1)

角田美千子 (和歌山2)

濱口昭美 (和歌山2)

三木須美子 (和歌山3)

宮本とし子 (和歌山3)

室谷敏子 (和歌山3)

前田明子 (和歌山4)

久保聡美 (和歌山5)

中村昌子 (和歌山6)

原みどり (和歌山6)

大畑裕美 (和歌山7)

木野弘子 (和歌山7)

坂本智恵 (和歌山7)

田上スミ子 (和歌山7)

嶋豊子 (和歌山8)

西本榮美子 (和歌山8)

幸前晶子 (和歌山9)

立花満子 (和歌山9)

長東千代美 (和歌山9)

敬称略・順不同

平成26年11月7日(金)・中央コミュニティセンター
第2回 4支部合同研修会開催される

4人の発表を楽しみに、各支部より102名の保護司が参加！

午後1時30分、林研修部会長の進行で開始され、昨年に続き2回目の体験発表ということで、期待を持って多くの保護司が参加しました。

4人の先生方のお話は大変興味深いものでした。「保護観察中に再犯された時の苦悩」「摂食障害の対象者と向き合う難しさ」「嬉しい体験としては薬物犯罪からの立ち直り」そして、「保護司が活動する上での問題点の把握・解決法」等々、盛り沢山な内容でした。また、ご臨席いただいた和歌山保護観察所・倉谷企画調整課長からは、的確で暖かい助言を頂きました。この研修で得られた成果は、保護司間で共有することにより、今後の保護司活動に生かされるものと思います。 文：西支部・中村咲子

①



西支部：岡田和夫 氏

③



北支部：温品圭司 氏

②



南支部：小野圭子 氏

④



東支部：鈴木 彰 氏

共に手を携え、更生保護活動に力を尽くそう…。

新任研修も終了 新たに5名の保護司が仲間入り

困ったことがあれば、迷わずサポートセンターに連絡ください。

平成26年11月15日、和歌山保護観察所に於いて新任保護司研修会が開催されました。

11月9日に委嘱辞令伝達を受けた県下の19名の保護司（男性18名・女性1名）が受講し、和歌山保護司会からも5名が受講しました。これにより、和歌山保護司会の会員総数は、206名、充足率は97.6%です。



楠 大樹

くす たいき

東支部・西和佐校区
総務部会

この度保護司の任命を受け、全うする自身はございませんが、先輩方のご指導を賜わり、頑張っていきたいと思っております。



高倉 理行

たかくら まさゆき

東支部・小倉校区
協力組織部会

護司を委嘱されました。色々なで不安感を持っていますが、先輩方にご指導・ご鞭撻を頂きながら、お力になれますように頑張ります。



山本 隆士

やまもと たかし

西支部・端正会
犯罪予防部会

私のモットーは「一期一会」です。日々の出会いに感謝しながら努めてまいりたいと思っております。ご指導よろしくお願ひ致します。



栗本 博善

くりもと ひろよし

北支部・松江校区
犯罪予防部会

和歌山刑務所で教誨師をつとめています。少しでも社会復帰のお役に立てることを願っています。どうぞよろしくお願いいたします。



下岡 一夫

しもおか かずお

北支部・野崎西校区
総務部会

私は相手の考えや気持ちを受け止めるように心掛けてきました。その想いを忘れず、信頼を築けるように努力したいと思っております。

長い間本当にご苦勞さまでした。3人の先生方が退任されました。

氏名	ふりがな	委嘱年月日	従事年数	支部
高瀬 可行	たかせ よしゆき	H14.11.09	12年	和歌山東
久田 秀賢	ひさだ しゅうけん	S 61.11.09	28年	和歌山東
南 正晃	みなみ まさあき	H14.11.09	12年	和歌山東

和歌山保護司会・各専門部会総会と新年会のお知らせ

- ◆日時：平成27年1月13日(火) ◆場所：アバローム紀の国2階・鳳凰の間
●開催時間：各専門部会総会・16:00～／新年会・17:20～19:20 ●会費：5,000円

サポートセンター和歌山の年末・年始の開設予定

- ◇年内の開設は：平成26年12月26日午前中 ◇新年の開設は：1月5日より通常どおり
※休館中にご用のある方は：奥田（090-8655-6930）又は樽井（090-9698-6822）まで

南支部 第1回 日帰りバスツアー

爽秋の一日京都「南禅寺」で寛ぐ・・・。



去る11月11日、南支部保護司26名で予てより計画していた「親睦と団結」を目的とした日帰りバスツアーを実施した。そんなわけで施設見学等は一切なし。教養と親睦一筋・・・。

OB保護司にも参加して頂き、紀三井寺「はやし」を午前8時に出発。今日は親睦が一番ということで、バスの車中は寛いだ雰囲気溢れ、

普段研修等では顔を合わせるだけの人も話をし、打ち解け合う。途中「出来た2のビールをどうぞ!!」のサントリービール京都工場を見学。試飲タイムでは、ホップの香り豊かな出来た2の美味しビールのお変わりに大満足・・・!!

その後、再び京都へと急ぐ。さすが国際観光都市、外人の多さに驚かされる。訪れた南禅寺は、紅葉真っ盛りとはいかなかったが、手入れの行き届いた境内や枯山水の「方丈庭園」、赤煉瓦の「京都疎水」等を散策し、爽やかな秋を目にも体にも十二分に満喫できた。お昼には「南禅寺順正」で名物の湯豆腐に舌鼓。帰りには、お決まりの京漬け物の西利へ・・・。支部長が話されていた「保護司会の団結を強めることが大切」との目的を果たせたと感じたバスツアーだった。

記・杉谷 睦生

北支部 県外研修会

更生保護法人西本願寺
「白光荘」施設見学。

宮本 二・記

北支部では、11月21日から22日にかけて県外研修を行いました。行先は、最初に京都市右京区にある「更生保護法人西本願寺白光荘」の見学です。参加者は24名でした。

この施設は、女性が矯正施設から仮出所・仮退院した場合の一次帰住先として、一定期間保護し、円滑な社会復帰を助け、再犯を防止しようとする施設です。

現在は定員20名に対し、収容者6名であるとのこと。収容者は、ここを拠点として仕事を探し、生活の場をさがすのです。収容者の大半は



(左)写真は白光荘前での集合写真

窃盗・薬物などの犯罪者で、原則、刑期満了までの収容ですが、働き口が見つからないなどの状況により、6か月の延長が認められるとのことでした。一日でも早く、普通の生活ができて、再び矯正施設などに収容されることがないように祈りながら施設を後にしました。

その後は、芦原温泉に一泊。親交を深めました。温泉は、良いお湯でしたが、周囲は田んぼで、田んぼの中に温泉旅館が数軒あるだけと私は感じました。

翌日は、東尋坊・永平寺などの観光地を巡り、それぞれ親睦を深められたと思います。



東支部県外研修会

播磨社会復帰促進センター
へ行ってきました。

平成 26 年 11 月 16 日～17 日
乙井 八重子・記

を聞くなかで、官・民共立の良い点悪い点等も解りました。そして、現在、全国に同様のセンターが 4ヶ所あるものの、今後は増えることはないとの話にも、うなずける気がしました。

この研修の折に、二人の保護司さんが、担当対象者との面接が出来たことも良い機会だったと、喜んでおられました。

充実した施設研修を終え湯村温泉で一泊し、次の日は、「余部鉄橋」の見学と小京都「出石城跡」を散策して 1泊2日の内容のある研修を終えることができました。

平成 26 年度の東支部県外研修に予てより希望していました「播磨社会復帰促進センター」へ 25 名の参加で行って来ました。

当日はお天気にも恵まれ、施設までの道中はバスで、「社会を明るくする運動」広報ビデオ（社会奉仕活動がテーマの『心の家路』）を鑑賞研修しながら行きました。

施設に到着し驚きました。建物の外観からして明るく、ゆったりとした様子が見て取れました。施設見学の時も、これまで見てきた刑務所や少年院とは異なり、開放的な落ち着いた感じで、特に蒲団を干してあったのには、「ホッカリとした温もり」を感じました。

また、見学後に所長さんのお話

西支部県外研修の報告 北の大地 札幌刑務所 訪問記

三木 衛

平成 26 年 9 月 5 日（金）秋の訪れが、和歌山市内に比べ格段に早いとは云え札幌の街中では、ナナカマドの実が赤く色づき、ようやく枝先の葉が少し紅色を差しかけた「秋の入口」と言った感じである。そんな中、我が支部の県外研修の一行 17 人が、約 10 年の歳月をかけて改築されたばかりの札幌刑務所を訪問しました。

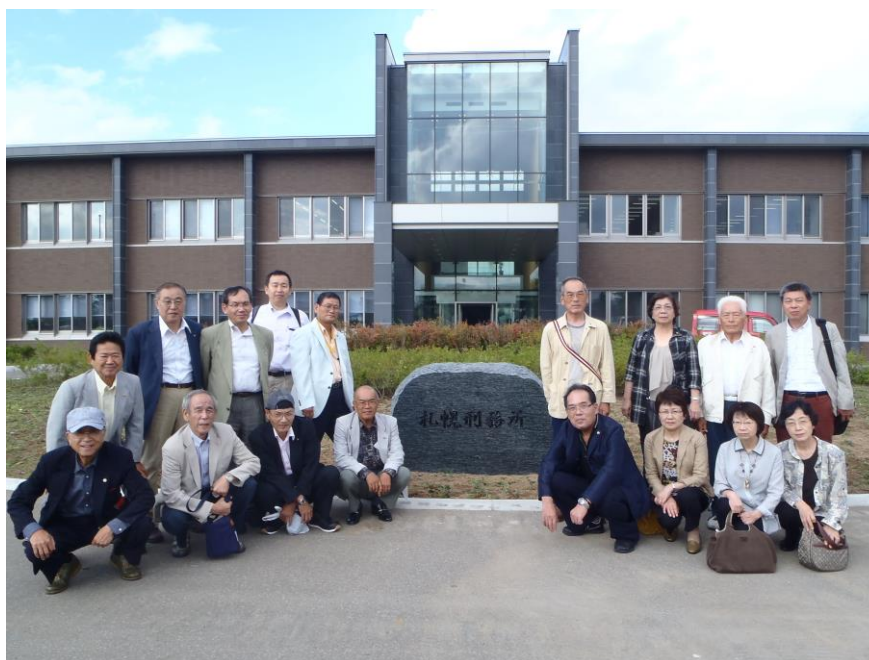
担当官より刑務所の今日までの経緯や収容者の現状等々、ていねいな説明を受け、その後、所内の視察となった。

真新しい木の香と温もりを感じながら、さすが北の大地といった感を受ける広大な土地にゆったり

としたスペースの施設と個室の多さに驚かされ、更に冬の長い北海道ならではの各部屋の空調設備の完備等、国内の刑務所としては最高級の施設であることを実感させられました。

担当官の説明と所内視察を合わせ 2 時間程の研修であった。その後、所外に設けられている刑務所作業品の展示販売所を一巡し、研修会の終了とさせて頂きました。

お疲れさまでした…。



▲「ハイ!チーズ」 秋空に映える建物をバックに「自然石の銘板」前で記念撮影